

数学・理科甲子園2021実施要項

1 目的

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決することにより科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高める。

また、本大会を「科学の甲子園全国大会」の兵庫県予選と位置付け、生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学に興味・関心を持つ生徒の裾野を広げる。

2 主催 兵庫県教育委員会

3 期日

令和3年11月27日（土）

4 会場

姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ
〒670-0836 姫路市神屋町 143-2

5 日程

- 9:00～ 9:40 受付
- 9:50～10:15 開会式
- 10:15～11:40 予選（個人戦、団体戦）
- 12:40～12:50 本選進出チーム発表
- 12:50～14:10 本選
- 14:40～16:20 決勝チーム発表、決勝
- 16:20～16:35 閉会式

6 対象者

兵庫県内にある国立、公立、私立の高等学校の1、2学年（年次）の生徒、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等に在籍している同年次の生徒または学生

7 対戦方法及び順位の設定

- (1) チーム対抗戦とする。（1校1チーム6名）
- (2) 数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題、応用問題、総合問題を、チームで協働して筆記競技、実技競技で競う。
- (3) 予選（筆記競技）：チーム対抗で、知識を問う問題及び知識の活用について問う問題を解き、個人戦（数学分野2題、理科分野6題）と団体戦（数学分野2題、理科分野6題）の総合計により、上位16チームが本選に進出する。

本選（実技競技）：16チームが数学や理科にかかわる思考的、工作的問題や、実験、観察などの問題に挑戦し、予選（筆記競技）の成績とあわせて、上位5チームが決勝に進出する。

決勝（実技競技）：5チームが科学的知識を応用して総合的な課題に取り組み、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを用いて課題を解決する力を競い、予選及び本選の成績も考慮して優勝、準優勝を決定する。

8 表彰

優勝、準優勝

優勝校は、令和4年3月18日（金）～21日（月）に茨城県つくば市で開催される「第11回科学の甲子園全国大会」に兵庫県代表として出場する。

9 チームと引率教員

1校1チーム6名（同一の高等学校等1、2学年（年次）のチーム）

各チームに引率教員が1名

10 その他

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大会内容の変更または大会開催の中止を決定する可能性がある。